



2025年8月25日

各 位

会 社 名 ポ ー ト 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 春 日 博 文  
(コード番号：7047 東証グロース・福証 Q-Board)

問 い 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 辻 本 拓  
財 務 I R 部 長

TEL.03-5937-6466

## ステーブルコイン市場における成約支援事業への参入に関するお知らせ

当社は、本日ステーブルコイン（電子決済手段）市場の急速な普及拡大を見込み、当該市場の成約支援事業に参入いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業参入の背景

当社は「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、企業の経営課題である成約活動に対して、高い成約力とマルチチャネルマーケティング力で、当社が集客～成約までの KPI を背負うことで、掛け捨てリスクをゼロにし、成約時に報酬が発生する成果報酬型モデルとなる成約支援事業を展開しております。主力のエネルギー領域、人材領域では、それぞれ個人向け電力・ガス成約支援市場における国内最大規模（※1）の成約支援事業者、新卒人材紹介事業の最大手クラス（※2）の事業者となっており、更なるシェア拡大に取り組んでおります。新規領域では、ファイナンス関連事業としてカードローン事業者に対する成約支援事業をはじめ、様々な金融事業者向けの事業立ち上げも進めている状況となります。

ファイナンス関連領域では新たな市場も生まれており、日本におけるステーブルコインとして、JPYC 株式会社が資金移動業者の登録を取得され、年内にも日本円と 1:1 で交換可能な日本円建ステーブルコイン発行方針を公表されており、金融庁も早ければ今秋にも日本円建ステーブルコインの発行を承認する方向で、今後の個人・事業者のユースケース拡大が見込まれます。

また、日本国内におけるステーブルコインの取り扱いにおいても、SBIVC トレード株式会社が、電子決済手段等取引業者の登録（国内初）を完了し、USDC（米ドルの価格に連動するステーブルコイン）の段階的取扱いを開始されるなど取り扱い環境が整備されてきております。

ステーブルコインは法定通貨に価値が連動することから投機性が低く、ビットコイン等の暗号資産とは性質が異なるものであることから、デジタル金融における利用者層の拡大が見込まれます。

なお、世界のステーブルコイン市場規模は約 3,000 億ドルと予測するレポートも多く、今後の拡大が見込まれています。

そのような状況において、当社は先行者としての優位性を獲得するべく、ステーブルコイン市場における成約支援事業に早期に参入することといたしました。

※1 「国内最大規模」：当社調べによるものになります。

※2 「国内最大手クラス」：当社調べによるものになります。

## 2. 事業の概要

### (1) 事業の内容

ステーブルコイン発行者または取扱事業者に対して、利用者拡大を目的とした成約支援事業を展開します。

収益モデル：

ショット型契約＝ユーザーの口座開設や初回購入等の成約時点課金

ストック型契約＝ユーザーの取引量・利用量に応じたレベニューシェア

### (2) 当該事業を開始するために特別に支出する金額

特別に支出する金額は軽微となります。

## 3. 日程

事業開始決定日：2025年8月25日

事業開始日：2025年8月25日

## 4. 今後の見通し

新規領域ではファイナンス関連事業として、SBI 新生銀行グループの新生フィナンシャル株式会社のカードローン事業レイクに対する成約支援事業として、当社からレイクに送客したユーザーへの貸付残高からのプロフィットシェアでの実現を通じてグループ全体のストック利益の成長に大きく貢献しています。

なお、本件が当社業績に与える影響は現時点では軽微と見込んでおりますが、ステーブルコイン市場における成約支援事業の進捗状況により、今後開示が必要となる事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上